

緊急！メッセージ

山口県健康福祉部新型コロナウイルス感染症対策室

山口県立総合医療センターへき地医療支援部

公益社団法人地域医療振興協会とくち診療所

中嶋 裕



メッセージの目的

クラスター対応チームとして、施設におけるクラスターの現状をお伝えしと対策をお伝えして、**各施設と危機感の共有を行う。**

アラートを立てる！

他人事ではなく、自分ごとにして対応する！！



現状の報告

山口県内の高齢者施設スタッフおよび入所者において

新型コロナウイルス陽性者の発生が続いており

陽性者多数発生施設（クラスター施設）も**確実に**増えてきている。



現状の報告

オミクロン株は、重症化しにくいという報告もあるものの…

実際には入所者は、体調悪化が続出し、緊急搬送や入院例が多数発生している。

しかし、入院できる病床は限りがあり、当日や翌日に入院できる保障はなくなってきている。

施設内で陽性者が療養を継続し、管理を行う必要がある。



現状の報告

スタッフが多数欠員になることもあり、慣れない感染対策の中でのケア負担は確実に増す。**いつもやっていることができない。**

入所者には通常の活動ができず制限された生活になる。



現状の報告

ケアの低下だけではないが原因ではないが、誤嚥性肺炎や尿路感染症の併発を起こしたり、経口摂取不良による脱水の進行など医療的ケアが多く必要になる。

実際には入所者は、体調悪化が続出し、緊急搬送や入院例が多数発生している。



現状の報告

スタッフの感染により、

自宅への二次感染・三次感染も報告がある。

自分自身また家族の生活の制限や負担も大きくなる。



改めて対策を確認(クラスター施設での共通の課題)

有症状で（発熱、咳があるのに）勤務しない。

→この時期だからこそ、ちゃんと休むことの徹底。

→感染拡大防止の第一歩

※外部委託や出入り業者さんの健康管理も改めて確実に



改めて対策を確認(クラスター施設での共通の課題)

手をアルコール消毒の徹底

→処置ごとにアルコール消毒をする

→職場から離れる時、休憩時など特に徹底する

→濃度は大丈夫ですか？



改めて対策を確認(クラスター施設での共通の課題)

仕事場での休憩時間の過ごし方

→一人で過ごす

→（陽性者は発生した場合や地域流行がある場合には）

食事もできれば車などで別々に食べる



改めて対策を確認(クラスター施設での共通の課題)

(発生時) 発生初期の混乱する

1) まず換気

2) 不用意にベッド移動をしない

(保健所やクラスター対応チームの意見を聞くまでは最小限に留める)

改めて対策を確認(クラスター施設での共通の課題)

(発生後) 現場はさらに混乱していく

→ (収束に向けて) 基本的な感染対策の再チェック

(とにかく自分がもらわない、人に移さないための行動)



改めて対策を確認(クラスター施設での共通の課題)

(発生後) 現場はさらに混乱していく

→こうならないような…事前準備 (今発生してない施設では)

- 1) 見取り図
- 2) スタッフと利用者の健康観察シートの作成
- 3) 消毒および感染対策物品の在庫確認



参考資料

沖縄県介護福祉士会「高齢者施設における新型コロナウイルス感染症への対応指針について」

沖縄県立中部病院 感染症内科 医師 高山義浩先生

<https://okikai.com/wp-content/uploads/8c9f53a64fb3f18a128d2829ad8e7683.pdf>



参考資料

厚生労働省ホームページ「介護現場における感染対策の手引き（第2版）」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/taisakumatome_13635.html



メッセージの目的

クラスター対応チームとして、施設におけるクラスターの現状をお伝えしと対策をお伝えして、**各施設と危機感の共有を行う。**

アラートを立てる！

他人事ではなく自分ごとにして対応する！！

